

無料

# 川崎いのちの電話 公開講座

## 第1回 「もしも 死にたいと言われたら」

講師：松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所薬物依存研究部 部長  
病院 薬物依存症センター センター長

日時：2019年1月27日（日）

13:30~15:30（受付 13:00~）

場所：川崎市国際交流センター レセプションルーム



## 第2回 「ネット依存の実態と対応」

講師：三原 聡子

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター  
臨床心理士

日時：2019年2月7日（木）

18:45~20:45（受付 18:15~）

場所：てくのかわさき



## 第3回 「人の話を聴くということ ~ボランティアから学ぶ~」

講師：渡辺 啓二

心と生活の相談室シャローム 室長

日時：2019年2月13日（水）

18:45~20:45（受付 18:15~）

場所：てくのかわさき



公開講座はどなたでも受講できます。1講座のみの受講も可能です。裏面の申込書を郵送、またはFAXでお送りください。「川崎いのちの電話」ホームページからも申し込みます。川崎いのちの電話相談員の応募には1講座以上の受講が必要です。各回とも講義終了後に相談員募集についての簡単な説明会を行います。（希望者のみ 15分程度）

問い合わせ 社会福祉法人川崎いのちの電話 事務局 TEL 044-722-7121 FAX 044-722-7122  
ホームページ <http://kawasaki-inochinodenwa.jp/>



この公開講座の案内は、共同募金配分金により作成しています。

**松本 俊彦（まつもと・としひこ）先生**

1993年佐賀医科大学卒業。精神科医として大学病院などを経て、2004年から国立精神・神経医療センターに勤務。現在は精神保健研究所薬物依存研究部長、薬物依存症治療センター長を務め、薬物依存症、自傷行為の研究や診療にあたる。『薬物依存とアディクション精神医学』『自傷・自殺する子どもたち』『もしも「死にたい」と言われたらー自殺リスクの評価と対応』など著書多数。

**三原 聡子（みはら・さとこ）先生**

法政大学卒業後、埼玉県内の精神科病院勤務を経て、臨床心理士、精神保健福祉士。2009年から独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター勤務。同センターは、社会問題にもなっているネット依存の研究、治療の最先端病院として知られ、その研究と治療に携わっている。

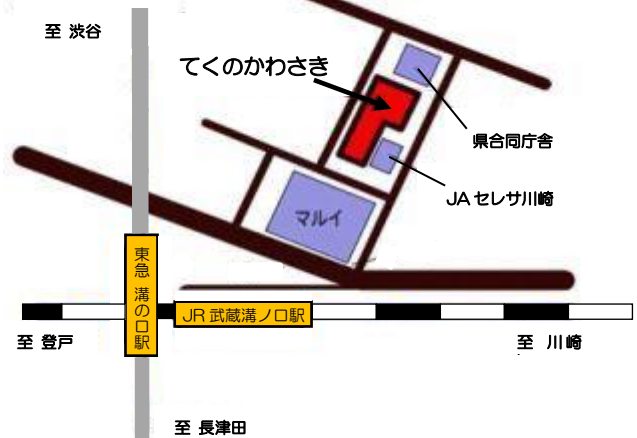
**渡邊 啓二（わたなべ・けいじ）先生**

現職：鷺沼教会牧師、東京基督教大学非常勤講師、彰栄保育福祉専門学校非常勤講師  
 神奈川県地域生活定着支援センター相談員、アルコールケアセンター たんぽぽ 理事長  
 元職：川崎市職員（療育センター・児童相談所勤務）



- ・東急東横線・目黒線「元住吉駅」下車徒歩 10分～12分
- ・東急東横線・目黒線・JR南武線「武蔵小杉駅」下車徒歩 25分～30分
- ・JR南武線「武蔵中原駅」下車徒歩 25分～30分

**てくのかわさき 周辺地図**



- ・JR南武線「武蔵溝ノ口駅」北口、東急田園都市線「溝の口駅」より徒歩5分

（FAXの時は切り取らずにA4サイズで送信してください）

**2019年度基礎講義（公開講座）申込書 No.**

フリガナ		性別	男 ・ 女
氏名		生年月日	
住所	〒		
参加希望の講座に○印を付けてください。		連絡先TEL	
	全講座一括	* 本講座を何で知りましたか。	
	第1回 1月27日(日) 13:30～15:30	1 新聞( ) 新聞( ) 2 市政だより	
	第2回 2月7日(木) 18:45～20:45	3 川崎いのちの電話ホームページ	
	第3回 2月13日(水) 18:45～20:45	4 その他のホームページ	
		5 川崎いのちの電話広報誌	
		6 このチラシ	
		7 知人のすすめ( )	
		8 ミニコミ誌( )	
		9 その他( )	

郵送先：〒211-8690 川崎市中原郵便局私書箱 17号 社会福祉法人 川崎いのちの電話 事務局  
 FAX 送信先：044-722-7122（送信時は表裏をご確認ください） TEL:044-722-7121